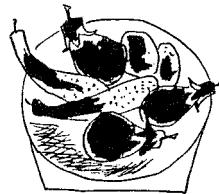


農業



平成23年7月号

会誌 No. 1548

目 次

卷頭言

- 真価が問われる農業科学と技術 貝沼 圭二 3
—基礎研究の成果を災害現場で生かそう—

論 壇

- ムラ社会を廃するために 林 良博 4

農業懇話会

- むらと農法変革 - 「市場モデル」から「むらモデルへ」 - 磯辺 俊彦 6
「むらモデル」を、「未来」(『21世紀の歴史』)から考える
超民主主義 - 市場(私)と国家(公)の矛盾を止揚する「むらモデル」(共)
「平たい地球」と「丸い地球」 - 新しい「むらモデル」を考える
「むらモデル」を、「過去」(『豊原村一人と土地の歴史』)から考える
庄内地方の百姓株(農民的土地区分)
自治と個人所有について
質疑応答 16

地域農業交流セミナー

- 6次産業化による農山漁村の活性化に向けて(Ⅲ) 19
- 北陸地域農業交流セミナーより -
農業用水を利用したマイクロ水力発電システムの開発 瀧本 裕士 19
お米の機能性成分利用(米タンパク質から植物性乳酸菌まで) 渡辺 紀之 23
これから米粉ならびに農産物の加工利用技術 江川 和徳 27

目次	1
----	---

トークセッション	31
----------	----

〔農事功績者座談会〕

消費者ニーズにこだわった安心・安全で良食味の米作り	40
－経営の安定を目指して－	
私の経営と農業への思い	太田 良治 40
現地指導者のコメント	遠藤由紀夫 46
質疑・討論	49

農業・農村の現場から

離島農業の試行錯誤	寿 洋一郎 61
－さとうきびが基幹作物の鹿児島県徳之島－	

世界の農業は今

ザンビアの稻作	浦山 久 66
---------	---------

統計情報

平成21年度 都道府県別食料自給率	
-------------------	--

農政情報

大日本農会だより	74
----------	----

表紙写真説明

花を育てる水（山梨県北杜市明野）

山梨県北杜市明野は、2004年、きょうほく 峠北地域の明野村、須玉町、高根町、長坂町、大泉村、白州町、武川村の7町村が合併した人口4万4千人の北杜市にある。旧明野村は、茅ヶ岳山麓に位置し、西には釜無川支流の塩川が流れる。集落は標高400mの山麓西南斜面に展開し、浅尾原など未開発の原野も広がる。そして、明野はひまわりの丘としても著名で映画の中のひまわりの多くは明野のひまわり、なんといってもここは「日照時間日本一」、ひまわりの丘にふさわしい。写真は、自動散水機によるひまわりの水やり風景である。

茅ヶ岳は、百名山ではないが、それを著した深田久弥が亡くなった山で、二百名山には数えられている。ここから見る富士山、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山などの景色は、秀逸である。こうした自然に抱かれた明野は、かつては米麦、養蚕の地であったが、近年は都市近郊として野菜や果樹の栽培、酪農が行われるようになり、茅ヶ岳や金ヶ岳をハイキングコースとして観光にも力を入れている。

(写真提供：(社)地域環境資源センター：旧農村環境整備センター)